

令和4年度海老名市一般会計決算の概要

コロナ禍に光を見出す 将来の健全財政を維持

決算の状況

() 内は対前年度比

- ◆一般会計歳入決算額 550億8,428万179円
(30億7,067万2,135円、5.3%の減)
- ◆一般会計歳出決算額 523億4,164万7,459円
(24億7,785万3,110円、4.5%の減)

歳入(一般会計)

() 内は対前年度比

- 市税 246億4,700万円 (8億9,700万円、3.8%増)
 - ・個人市民税 95億7,100万円 (2億9,600万円、3.2%増)
 - ・法人市民税 13億5,800万円 (1億600万円、8.5%増)
 - ・固定資産税 110億4,500万円 (3億6,600万円、3.4%増)
- 国・県支出金 143億1,200万円 (26億9,700万円、15.9%減)
- 繰入金 26億1,500万円 (7億8,000万円、42.5%増)
- 市債 26億9,800万円 (4,500万円、1.6%減)

歳出(一般会計)

() 内は対前年度比

- 義務的経費 243億3,900万円 (18億400万円、6.9%減)
 - ・人件費 79億1,500万円 (1億8,200万円、2.4%増)
 - ・扶助費 136億1,700万円 (15億2,400万円、10.1%減)
 - ・公債費 28億700万円 (4億6,200万円、14.1%減)

扶助費は、子育て支援施設型給付事業費や障がい者自立支援給付費等事業費が引き続き伸びている一方、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業が終了したことなどにより減額となりました。

義務的経費は今後も増加が見込まれるため、財政構造の弾力性確保の点から引き続き注視が必要です。

- 普通建設事業費 50億1,000万円 (4億1,600万円、9.1%増)

普通建設事業費は、西口地区道路整備事業や食の創造館増築棟建設工事が進捗したことなどにより増額となりました。

令和4年度の主な取組

令和4年度は「コロナ禍に見出す 将来の健全財政を維持」をテーマに、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立を基盤とした政策を実施し、未来につながる持続可能な財政運営に取り組みました。

充実して暮らせるまち



■市制施行50周年記念プラス1事業 1,900万円

～えびな市民まつりの実施～

市制施行50周年記念事業の中で、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったえびな市民まつりをプラス1事業として実施しました。

■防犯灯LED化整備事業 7,700万円

市民の安全を守る防犯灯のLED化を推進し、環境負荷の軽減を図りました。



市民まつり5,000発花火打上

健やかに暮らせるまち



■駅間での健康推進事業の実施 1,800万円

海老名駅間施設VINA GARDENS PERCHIにて、若い世代の健康意識等の向上を目的に健康相談、健康・医療プログラムを展開しました。



VINA GARDENS PERCHI

■24時間健康相談ダイヤルの実施 300万円

市民が24時間365日健康に関する不安を相談できるコールセンターを整備し、深夜帯等でも途切れることのない健康相談体制を構築しました。

■新型コロナウイルスワクチン予防接種の実施 9億300万円

集団接種会場や夜間接種会場を設置し、生後6か月以上の市民を対象にワクチン接種を実施しました。



びなウェル

未病センター

にぎわいがあり自然に優しいまち



■コロナ禍における原油価格・物価高騰対応プレミアム付商品券の発行 3億7,000万円

市民の生活支援及び地域経済の活性化を図るため、市内でのみ使用可能なプレミアム付商品券を発行しました。



プレミアム付商品券イメージ

■家庭系ごみの減量化に資する戸別収集 2億5,400万円

令和元年度から実施している「家庭系ごみの一部有料化と戸別収集」を継続し、より一層の燃やせるごみの減量化、資源化の促進を図りました。

便利で快適に暮らせるまち



■市道62号線延伸の整備（継続事業完了） 1億6,200万円

安全で快適な生活環境の向上のため、市道62号線を延伸し、橋りょうを設置しました。

■公共施設附帯駐車場の有料化 2,100万円

将来的な人口減少や少子高齢化を見据え、「受益者負担の適正化」「負担の公平性」「財源の確保」を目的に、公共施設附帯駐車場の有料化を開始しました。



市道62号線延伸 ～郷ノ泉橋～

豊かな学びを育むまち



■ 食の創造館増築棟整備事業 3億5,700万円

公立中学校における完全給食の再開を目指し、食の創造館増築棟建設工事を開始しました。

■ ライフ・スタディサポートの拡充 1,300万円

中学生の学習習慣の確立・学習意欲の向上を目指し、中部地区（海老名中学校区・大谷中学校区）に続いて、新たに北部地区（柏ヶ谷中学校区・今泉中学校区）を開設しました。



食の創造館増築棟
イメージパース

安全で安心して暮らせるまち



■ 消防署南分署整備事業 2,800万円

甚大化する災害等にも確実に対応し、将来にわたり「安全・安心なまち」を維持できるよう老朽化した消防署南分署の移転・建替え整備を進めました。

■ 消防車両の整備 9,300万円

消防車両を更新し、万全な出動体制を整え、市民の安全・安心を確保しました。

■ 防災ガイドブックの更新 900万円

防災ガイドブックを更新し、災害に関する情報入手手段や各種ハザードを周知しました。



防災ガイドブック



消防署南分署イメージパース



更新車両

かがやきを創造するまち



■ スマート窓口・引越しワンストップを新設 4,100万円

スマート窓口・引越しワンストップを設置し、各種証明書の発行等手続きを簡素化するとともに、住所異動手続の事前申請が可能になりました。

スマート申請・引越しワンストップ（転出）

行かない 来庁不要手続き
オンラインで完結

スマート窓口・引越しワンストップ（転入）

待たない 自宅で申請
事前入力で窓口受付

書かない 市民は申請書記入不要
手続毎の書類記入不要

■ 公共施設再編（適正化）計画の改定 800万円

アンケートやワークショップ等の市民参加手法を取り入れ、市の施策展開との整合性を確認しながら改定案の作成を進めました。

新たな発見ができるまち



■ 市制施行50周年記念プラス1事業 50万円 ～5050EBINAダンスの実施～

コロナ禍で実施できなかった「5050EBINAダンス」を実施し、市民の笑顔と元気を発信するとともに、郷土愛の醸成を図りました。

5050 EBINAダンス



■ 広告等によるシティプロモーションの実施 150万円

海老名市の認知度の向上や市民の愛着と誇りの醸成を図るため、PR事業を展開し、積極的に市の魅力を発信しました。



えび～にやアドバルーン

基金及び市債残高の状況

- 基金残高は85億92百万円（前年度比8億46百万円、10.9%の増）となりました。
- 市債残高は、基金とのバランスに留意しながら適債事業に対して積極的な活用を行い、一般会計分が280億31百万円（前年度比31百万円、0.1%の増）、特別会計分が1億9百万円（前年度比皆増）、企業会計分が115億62百万円（前年度比5億18百万円、4.3%の減）となりました。

（単位：千円）

	令和4年度末	令和3年度末	増減額	増減率
基金残高	8,592,368	7,746,073	846,295	10.9%
市債残高	39,702,496	40,080,410	△377,914	△0.9%
一般会計分	28,031,338	28,000,121	31,217	0.1%
特別会計分	108,800	-	108,800	皆増
企業会計分	11,562,358	12,080,289	△517,931	△4.3%

注：市債残高における特別会計分は、公共用地先行取得事業特別会計をいいます。

財政力指数及び経常収支比率

- 令和4年度の財政力指数（単年度）は1.036（前年度比0.051ポイント増）となり、再び普通交付税不交付団体となりました。
- 経常収支比率は、燃料や電気水道料をはじめとした物価高騰の影響で物件費が増加するなどした一方、地方税は増加したものの再び普通交付税不交付団体となったことや臨時財政対策債の借入れがなくなったことなどにより、歳入の増加が抑えられたため、93.8%（前年度比4.2ポイント増）となりました。

区分	令和4年度	令和3年度	増減
財政力指数（3か年平均）	1.028	1.035	△0.007
財政力指数（単年度）	1.036	0.985	0.051
経常収支比率（%）	93.8	89.6	4.2
実質収支比率（%）	7.8	10.7	△2.9

注：実質収支比率は、決算統計に基づき算定しています。

健全化判断比率及び資金不足比率

- 健全化判断比率及び資金不足比率については、いずれの比率も国が定めた基準を大きく下回っており、本市の財政の健全性は財政健全化法上も問題ないこととなりました。

【健全化判断比率】

	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	－（赤字なし）	11.97%
連結実質赤字比率	－（赤字なし）	16.97%
実質公債費比率	4.6%	25.0%
将来負担比率	28.2%	350.0%

【資金不足比率】

公営企業会計名	資金不足比率	経営健全化基準
公共下水道事業会計	－（資金不足なし）	20.0%

お問い合わせ先

海老名市 財務部 企画財政課 電話 046-235-8453（直通）
FAX 046-233-9118 E-Mail zaisei@city.ebina.kanagawa.jp